

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
○「教師・子どもが元気で笑顔いっぱい、温かく落ち着いた学校」 ○「よく学び 明るく やさしく たくましく」 「基本的な生活習慣を身に付け 自ら学ぶ意欲と志を持ち 心豊かにたくましく生きる 心身共に健康な東若久っ子」 ○「子どもに寄り添い、自己研鑽に努め、信頼される教師」		国語学習の学力向上	○学力アップタイムに低学年は読書タイム、中高学年は読み取り学習を位置づけ「読む力」の向上を図る。 ○司書教諭を中心に、読書量アップを図る取組を行い、一人一人冊数の目標数値を決めそれを達成する。
		道徳授業の充実と、自尊感情の向上	○いじめ、学校生活に関する、2つのアンケートから子ども の実態をさらに細かく把握する。 ○子どもたちに考えさせる道徳学習の充実を図るための研修会を実施する。 ○「原田山の花いっぱい運動」をさらに充実させる。
		保護者・地域とのさらなる連携	○懇談会前に学級委員と連絡を取り、懇談会の充実を図る。 ○地域の方をGTに呼ぶだけでなく、学校から地域行事に参加していく取組の活動計画
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
確かな学力を身に付けた子を育成する。	○算数・理科ノートの書き方を統一し学習過程をそろえ、授業改善・共通実践に活かし全国・市学力調査で「同程度」以上を目指す。	○算数・理科ノートの書き方統一については、定着している。○全国・市学力調査において「同程度」「やや上回っている」の結果から、算数学習における少人数学習コースに合った指導方法の工夫、学力アップタイムでの学習内容の統一、給食前補充の内容を工夫することの成果が表れたと言える。国語学習の学力アップに対する取組が今後必要となる。○「立腰タイム」は100%の定着が図られている。「話し方・聞き方」については、保護者アンケートで「できる」「よくできる」が91%であった。立腰タイム以外の日々の授業の姿勢も良くなってきたが、学級差がある。○補充発展学習については、国語作文学習に力を入れた。今後、取組指標をはっきりとさせる必要がある。	
	○「立腰タイム」の定着100%。「話し方」「聞き方」を身に付ける指導を徹底させ、授業参観アンケートで「できる」「よくできる」の項目90%を目指す。		
	○学力アップタイム・算数科における少人数指導を徹底させたり、補充発展学習をしたりして、学年末テストでの平均80%以上を目指す。		
	○給食準備中の補充発展学習を全学年対象に実施し、算数科における基礎事項の徹底を図り、全国・市学力調査で「同程度」以上を目指す。		
「ほんわか言葉を使う子」を育成する。	○「原田山花いっぱい運動」の継続と全学年で取り組む。(できれば保護者にもつないでいく。)	○「原田山花いっぱい運動」は、強化月間を設けたり、放送で紹介したりまた、保護者にも書いてもらったりと活動を充実させたことで、友だちや自分の良さに気付く子が多くなった。○2学期末のアンケートでは、いじめられたことがある27人、見たことがある30人だった。低学年が多い。「ある」と回答した子には、個別指導と家への連絡をした。○「学校が楽しい」は全校96%が楽しいと答えた。4%の子達への個別指導を重ねた。○掃除指導については、「もくもくそうじ」の徹底を図るために、2学期から各掃除場所の振り返りの見える化、掃除場所のメンバー、分担の掲示と、係からの放送など取組の強化を図ったため、静かにもくもくと掃除する姿が多く見られた。	
	○代表委員会・運営委員会を活用し、「いじめゼロ」への意識化・見える化を図りいじめに関するアンケートで「いじめられたことがある」の項目を2学期末までに30人未満にする。		
	○「障がい者」「友だち」「言葉」に関する道徳の授業を充実させ、教育相談アンケートの「学校が楽しい」の項目を2学期末までに90%以上を目指す。		
	○縦割り清掃で上学年のリーダー性・下学年との協力の指導、掃除の徹底を図り、がんばりカードの項目「学校をきれいに」の90%達成を目指す。		
保護者・地域との連携を図る。	○「笑顔で目を見て挨拶」の徹底を図り、職員も進んで挨拶を行う。がんばりカード・アンケートの項目を2学期末までに95%達成を目指す。	○「笑顔で目を見て挨拶」はがんばりカード95%の達成はできた。個人差があり挨拶を目を見てできない子もいる。今後さらに挨拶の徹底を図っていく。○「自学ノート」は1学期全校児童1736冊の使用だった。内容充実を図るまでには至らず、現在ノートの利用にいて、学力向上部で話し合っている。○アンケートについては、家庭に持ち帰り記入をする方法をとり、新たな発見をすることができ、効果があった。また、家庭との連携もとりやすかった。○地域の方々をGTとしての、道徳公開学習は、道徳教育充実につながった。	
	○「自学ノート」1学期間1,000冊以上使用を目指し、内容の充実を図るため、保護者の協力を得る発信を行う。		
	○家庭と連携し、アンケートを年2回家庭で記入するなど指導を重ね、遅刻0、いじめ0を目指す。		
	○地域コーディネーターと連携し、保護者・地域からGTを招聘し、道徳教育の充実を図ることと、学校公週間に公開授業をする。		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
○重点目標達成のため、先生方が一丸となり取組を行い、成果をあげられておられることに敬意と感謝をいたします。先生方の子どもに対するきめ細やかな対応と熱意がとても伝わりました。○学校生活、特に小学校は子どもたちが大人に育っていく第一歩の場所だと思います。やさしい心を育てながらお友だちをつくりコミュニケーション力を養ってほしいと願っています。若い先生が多いとのことですが、子どもたちの指導に加え、先生方の指導も大変と思いますが、学校運営の力を信じ、応援していきます。○いつもいじめへの徹底した早期対応が素晴らしいと感じています。ありがとうございます。			